

支援をいただいた皆様へ

このたびは、災害にあたって、数多くの支援をいただき本当にありがとうございました。7月5日の九州北部豪雨により、私たち杷木中学校を含め、朝倉市の6つの中学校は、7月10日より夏休みに入りました。杷木中学校の生徒の中には、自宅が被害に遭った人が多くいます。夏休みは、地域の泥だしや復旧作業などのボランティアに多くの人に参加しました。

8月21日、10日前倒しになって始まった2学期。みんなで一歩ずつ日常を取り戻そうと学校生活を送っていきました。災害の関係で体育祭が中止になるなど毎日の生活を送る中で、気持ちが落ち込みそうになったとき心の支えになったのが、皆さんからいただいた数多くの支援です。全国各地から、数え切れないほどたくさんの方の温かなメッセージや義援金をいただき、私たちは多くの人から見守られ、支えられているのだと改めて実感することができました。そんなみなさんに「ありがとうございます感謝」と「私たちは今、前を向いて全員で頑張っています」というメッセージを届けたいと思い、DVDを作成しました。その内容は、2つです。

1つは、『ビデオメッセージリレー』です。生徒会執行部19名で、皆さんに伝えたいメッセージを書き、次の人に投げて渡すという形で動画を作成しました。一人一人が映っている場所は、災害後の杷木中学校のあらゆる場所です。その中には、9月末まで避難所になっていた武道場、今もなお災害ゴミ置き場になっているグラウンドも映っています。

もう1つは、『全校パネル演技』です。10月20日、4、5、6時間目の3時間で作成しました。全校生徒でも何かを創りあげて、皆さんに伝えたいと思い、生徒会で企画しました。約150枚のパネルを生徒会執行部のメンバーで一枚一枚貼り合わせ、ペンキで色を塗り準備しました。当日は限られた時間の中でしたが、皆さんに届くメッセージを作ることができたと思っています。また、パネル演技を通して、全校が一体となって行う行事ができました。体育祭という、全校で行う大きな行事が1つ減った分、このパネル演技は学年を超えて縦の繋がりを再確認し、より深いものにできました。そんな雰囲気の中行った、パネル演技で皆さんに、私たちの思いが少しでも届けば幸いです。

災害から、5ヶ月以上が経ったこの時期にようやく皆さんに何かしらの形で返すことができました。ゆっくりではありますが、これからも杷木中学校は一歩ずつ前進し、もとの朝倉の町を取り戻していきます。これからも見守っていただければ幸いです。本当に温かな支援、ありがとうございました。